

速報

環境教育に対する教育現場の取り組みと意識^{*1}

—直方市と日田市の教育委員会と小学校長の場合—

青田 勝^{*2} ・ 吉田茂二郎^{*3} ・ 村上拓彦^{*3} ・ 今田盛生^{*3}
伊東啓太郎^{*4} ・ 池田朝二^{*5}

青田 勝・吉田茂二郎・村上拓彦・今田盛生・伊東啓太郎・池田朝二：環境教育に対する教育現場の取り組みと意識 九州森林研究 56：145-148, 2003 現在、福岡県直方市に「直方の森（仮称）」が造成されている。直方市が、直方の森において小学生対象の環境教育を実施する予定である。本研究では、直方の森の環境教育をより良いものとするための研究材料として、今回は環境教育のなかでも、特に森林・林業に関する環境教育に注目した。そこで、福岡県直方市を林業活動があまり盛んではない市として、また一方で大分県日田市を林業活動が盛んな市として取り上げた。その両市における環境教育に対する取り組みと意識を把握し、その違いを比較することを目的とした。両市における各小学校の環境教育の取り組み把握については、小学校の校長先生に対するアンケート調査により明らかにした。アンケート調査の結果、現段階では森林に関する環境教育はあまり実施されていないことが分かった。

キーワード：環境教育，アンケート

Aota, M., Yoshida, S., Murakami, T., Imada, M., Ito, K. and Ikeda, T.: **The trial and consciousness of schools to environmental education Kyushu J. For. Res. 56 : 145-148, 2003** *Nogata-no-mori (tentative name)* has been developed by Nogata city in Fukuoka Prefecture. Nogata city is scheduling an environmental education program in the *Nogata-no-mori* for schoolchildren. In order to establish an adequate environmental education program for *Nogata-no-mori*, this study examines the consciousness of elementary schools to environmental educations, especially to forest and forestry. Two cities, Hita city in Oita and Nogata city in Fukuoka, were picked up as a case study area. These two cities are different in the emphasis of forestry in their society: Forestry is prosperous in the former but not in the latter city. Questionnaires were sent out to the principals of elementary schools for understanding the efforts of each elementary school of both cities on environmental education. The results indicated that little environmental education program on forests was carried out in both cities.

Key word : Environmental education, Questionnaire

I. はじめに

平成14年度より、公立の小・中学校において実施されている「総合的な学習の時間」の学習内容として、自然体験・観察および調査などの体験学習を積極的に取り入れることとある(1)。さらに上飯坂(2)の報告から、幼児期や小学生の時期に自然や森林に接することが将来の人間形成に極めて良好な影響を与えたとあり、「総合的な学習の時間」の中における環境教育の重要性は高いといえる。小学校の環境教育は、生活科・理科・家庭科および社会科等の教科と関連させて行われている(3)。現在、福岡県直方市の福地山麓に位置する「直方の森（仮称）」が、直方市の高次森林機能モデル林事業の一環として造成されている。そのモデル林事業の一環として、平成14年度より直方市が、直方の森において小学生を対象とした森林・林業に関する環境教育を行う予定にしている。

そこで本研究では、それをより良く実施するために、直方市の環境教育とりわけ森林・林業に関する環境教育の現状を把握するとともに、環境教育が教育現場でどのように実施されているかということも把握することが必要であると考えた。また、スギの人工林施業で全国的に古くから知られている大分県日田市についても、環境教育および森林・林業に関する環境教育の現状と教育現場における環境教育の実施状況を把握し、両市における実際の小学校での環境教育に対する意識の違いについて比較することを目的とした。今回は、環境教育についての取り組みを把握するために直方市・日田市の教育委員会にヒアリング調査を行い、また直方市・日田市の各小学校における環境教育の取り組みを把握するために、小学校の校長先生にアンケート調査を実施したのでその結果を報告する。

^{*1} Aota, M., Yoshida, S., Murakami, T., Imada, M., Ito, K. and Ikeda, T. : The trial and consciousness of schools to environmental education

^{*2} 九州大学大学院生物資源環境科学府 Grad. Sch. Biores. and Environ. Sci., Kyushu Univ., Fukuoka 812-8581

^{*3} 九州大学農学研究院 Fac. Agric., Kyushu Univ., Fukuoka 812-8581

^{*4} 九州工業大学工学部 Fac. Tech., Kyushu Tech. Univ., Fukuoka 804-8550

^{*5} 直方市役所農業振興課 Sec. Agric. prom., Nogata City Off., Fukuoka 822-0017

Ⅱ. 対象地の概要

1. 直方市の概要

直方市は福岡県の北部、遠賀川に沿って開けた直方平野のほぼ中央に位置している。市の東部には福智山(900.8m)を主峰にその支脈(平均標高600m)が南北に走っている。西部には六ヶ岳(339.6m)の丘陵が北西にひろがり、中央は比較的平らな地域になっている。旧八幡製鉄所に近く、鉄道の分岐点であったことから石炭と鉄工の町として栄えた(図-1)(4,5)。人口は、59,178人(平成12年国勢調査)、小学校数は、11校(平成14年)、生徒数は、3,256人(平成14年)である。市の山林面積は、市の総面積の約4割を占めている。

2. 日田市の概要

日田市は、大分県の北西部に位置しており、地形は典型的な盆地である(図-1)。気候はスギの生育に適し、人工林率は81.3%であり、日本三大林業地として知られている。その森林は、豊かで良質な水を育み、筑後川の水源地域として重要な役割を担い続けてきた(6)。人口は、62,499人(平成12年国勢調査)、小学校数は、19校(平成14年)、生徒数は、3,872人(平成14年)である。市の山林面積は、市の総面積の約7割を占めている。

3. 直方市と日田市の社会的背景の比較

直方市と日田市の人口と生徒数の規模数は、ほぼ等しい(表-1)。また、林業サービス事業体数から比較すると、直方市が1、日田市が21であり、日田市の事業体数が多い。さらに、森林組合数から比較すると直方市には森林組合がなく、日田市には1つある(表-2)。以上により直方市より日田市の林業活動の方が盛んであるといえる。

Ⅲ. 調査方法

1. 教育委員会に対するヒアリング調査

平成14年8月に直方市・日田市の教育委員会に対してヒアリング調査を実施した。調査の内容は以下に示す通りである。

- ①市の取り組みとしての環境教育実施の有無
- ②過去の環境教育の具体例



図-1. 対象地の位置

③今後の環境教育の方針

④環境教育を実施していく上で、森林を題材として用いる計画の有無

⑤環境教育の具体的な内容に関する教育委員会の方針

2. 小学校の校長先生に対するアンケート調査

平成14年9月に直方市・日田市の小学校の代表者である校長先生に対してアンケート調査を実施した。アンケート調査の概要は、以下に示す通りである。

調査対象は、直方市・日田市の小学校の校長先生全員である。送付票数は、直方市11票・日田市19票、また回収票数は、直方市11票・日田市17票で、回収率は、直方市100%・日田市89.5%であった。

なお、アンケート調査の具体的な質問事項は、以下に示す内容の通りである。

- ①総合的な学習の一環として環境教育を行うことに関してどう思われますか。
- ②貴校で、環境教育についてすでに実行しているまたは、今後実行していこうとお考えですか。
- ③森林・林業に関する環境教育を実施することに対してどう思われますか。
- ④貴校では、学校林を所有していらっしゃいますか。
- ⑤(4の質問で「はい」とお答えになった学校の方のみにお伺いします)。学校林を総合的な学習の一環として環境教育に生かそうとお考えですか。
- ⑥森林・林業に関する環境教育を実施していますか。
- ⑦(6の質問で「はい」とお答えになった学校の方のみにお伺いします)。どんなプログラムで実施していますか。具体的にお書きください。

Ⅳ. 結果

1. 教育委員会に対するヒアリング調査

市の取り組みとして環境教育を実施しているかという質問について、直方市の教育委員会からは特に実施していないという回答を得た。また、日田市の教育委員会に関しても、実際に行うまでには至っておらず、環境事業計画の一環として環境教育を推進しているという回答を得た。さらに質問5より、直方市・日田市の教育委員会ともに、各小学校には直接的な働きかけを行っていないことが分かった。

2. 小学校の校長先生に対するアンケート調査

直方市に関しては、質問1から3より、森林・林業に関する環境教育について全員から賛成という回答を得た。質問4より、学校林を所有している学校は一つもなかった。また、質問6より、森林・林業に関する環境教育を実施している学校が1校あることが分かった。具体的な環境教育は、福知山のダム建設に関わる公園作りと関連させて、森林の働き等、環境に関わるプログラムという内容であった。

日田市に関しては、質問1から3より、質問3で未回答が1校あったものの、直方市と同様に森林・林業に関する環境教育についておおよそ賛成という回答を得た。質問4より、学校林を所有している学校が2校あり、そのうちの1校は、学校林を総合的な

学習の一環として環境教育に生かそうと考えているということであった。また、質問6より、森林・林業に関する環境教育を実施している学校が1校あることが分かった。他に、学校林の返却期限が迫っているということで、森林・林業に関する環境教育を実施するかどうか検討中であるという小学校もあった。

アンケート調査について総括すると、質問1から3より、直方市・日田市ともに森林・林業に関する環境教育に関して賛成はしているということだが、質問6よりほとんどの小学校は、実行に移せない状況にあることが分かった。

V. 考 察

直方市・日田市の教育委員会に対するヒアリング調査の結果より、実際の環境教育の内容に関しては、小学校（校長先生）の裁量に委ねられているということから、各小学校単位で様々な環境教育の取り組みが計画・実施されていることが考えられる。

また、直方市・日田市の校長先生に対するアンケート調査の結果から、森林・林業に関する環境教育について賛成しているが、実際ほとんど実施されていなかった。今回は、直方市・日田市の小学校のみの結果ではあるが、森林・林業に関する環境教育が実施されているかどうかは、林業が盛んであるかどうかでは左右されないということが分かった。森林・林業に関する環境教育の実施状況が、林業地であるかどうかで左右されるのかについてより明確にするためには、他の林業地でのアンケート調査が必要であ

ると考えられる。

また、林業が盛んな地域において、森林・林業に関する環境教育があまり実施されていない理由については、今回のアンケート調査項目では分からなかった。この理由を明らかにするため、現在、小学生やその保護者および小学校教諭に対して自然観および環境教育に関するアンケート調査を実施しており、このアンケート調査の結果からそれらの理由が分かるであろう。今後著者が、森林・林業に関する環境教育を実施していくならば、各小学校が環境教育の題材をどのような要因によって取り上げているのかを検討していく必要がある。

さらに学校関係者が、どのような森林・林業に関する環境教育を望むのかについて引き続き調査を継続し、実際の直方の森での環境教育に何らかの形でフィードバックさせていく方法を構築していかなくてはならない。

引用文献

- (1) 文部省 (1999) 小学校学習指導要領解説(総則編), 51pp.
- (2) 上飯坂實 (1998) 林業経済 596 : p. 3.
- (3) 佐島群巳 (1999) 環境教育入門, 国土社, 東京, 69-77.
- (4) 直方市・近畿大学 (2002) 直方市環境基本計画基礎調査報告書 (第2部 社会環境調査), p. 1.
- (5) 直方市 (2002) 直方市地域新エネルギービジョン, 25pp.
- (6) 日田市 (2001) 日田市環境基本計画2001-2010, p. 6.

表-1. 直方市と日田市の社会的背景

| | 人口 (人) | 総土地面積 (ha) | 林野面積 (ha) | 小学校数 | 生徒数 (人) | 林野率 (%) |
|-----|--------|------------|-----------|------|---------|---------|
| 直方市 | 59,178 | 6,178 | 2,236 | 11 | 3,256 | 36.2 |
| 日田市 | 62,499 | 26,921 | 19,320 | 19 | 3,872 | 71.8 |

表-2. 林業サービス事業者等 組織形態別事業者数

| 市区町村名 | 単位：事業者 | | | | |
|-------|--------|------|---------|----|----|
| | 計 | 森林組合 | 各種団体・組合 | 会社 | 個人 |
| 直方市 | 1 | - | 1 | - | - |
| 日田市 | 21 | 1 | - | 4 | 16 |

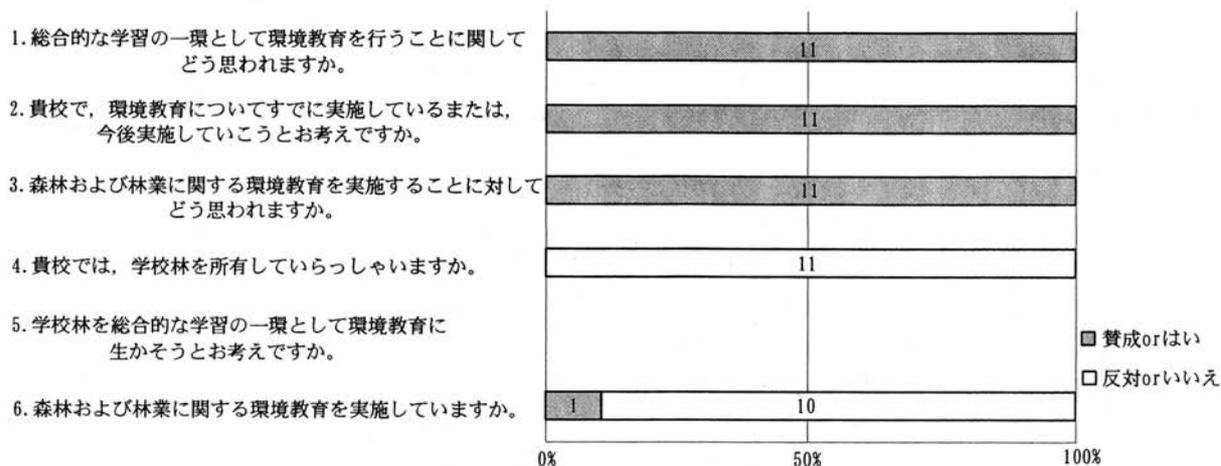


図-2. 直方市のアンケート調査の結果 (回答数11件)

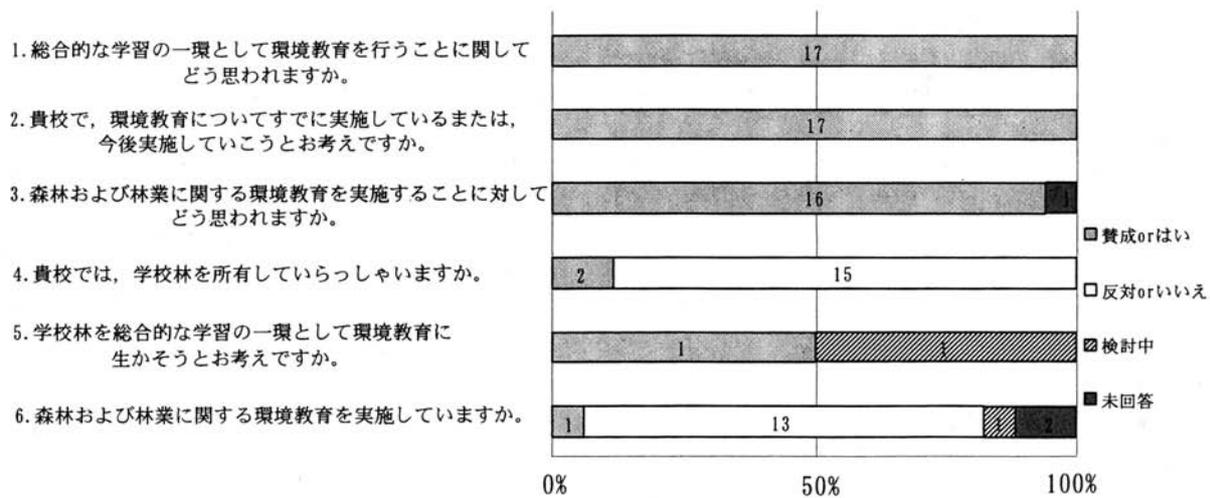


図-3. 日田市のアンケート調査の結果 (回答数17件)

(2003年1月9日 受理)